

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課	■担当係	観光国際係
■評価事業名称	夏油高原森林空間総合利用運営協議会負担金(事務局事務含む)		
■事業開始年度	平成4年度		
■評価事業コード	060200 - 016	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興	
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の実施義務(自治事務)		
■法令等の名称	森林空間総合利用整備事業の実施について(平成元年4月27日元林野業二第108号)		
■関連計画の名称	夏油高原開発整備計画		
■事業の目的と概要	夏油高原森林空間総合利用地域の開発整備及び管理運営を円滑に行う。運営協議会事業費に対する負担金運営協議会では、夏油高原の開発計画や施設整備、安全管理等について必要に応じて協議しているほか、情報収集や調査研修を行っている。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	夏油高原森林空間総合利用運営協議会負担金(事務局事務含む)	運営協議会	総会の開催:1回 研修会の実施	総会及び研修会は未開催 (現在は負担金無し)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費			1		
人件費	81		75		
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	81		76		

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	入込1人当たりコスト				0	
	関係者会議、研修の開催	2回	1回		0	おもてなし研修会やフォーラムの開催
	夏油高原スキー場入込数	74,379人	70,741人	110,720人	123,332	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

会議1回当たりコスト	41千円				
夏油スキー場エリアへの観光客入込数	85,993人	125,592人	122,754人	135,760人	観光施設等への入込調査による

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

夏油高原の観光振興として、スキー場の活用を積極的に行っており、入込数は増加している。

問題点・課題等

グリーンシーズンの活用が少なく工夫が必要

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

夏油高原スキー場運営評価委員会の意見を踏まえ、グリーンツーリズム活用に向けた検討、およびインバウンド受け入れの強化を行う。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了